

I 類 B

専 門 問 題

平成 27 年 9 月 施 行 職 員 採 用 （ 保 健 師 ）

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題は全部で **17 題**あり、ページ数は **10 ページ**、試験時間は **1 時間 30 分**です。
2. 解答用紙は、全部で **7 ページ**です。
3. 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
記述問題については、正答を解答用紙【記述】（**A**～**E**）に記入してください。
4. 計算を要する場合は、問題用紙の余白、裏面を利用してください。 **解答用紙は絶対に使ってはいけません。**
5. この問題用紙は、持ち帰ることができます。

1

ヘルスプロモーションの活動方法として、下記の5つの戦略があげられている。空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせはどれか。

ア 健康的な づくり

イ 健康を支援する づくり

ウ 地域活動の強化

エ の開発

オ ヘルスサービスの方向転換

A

B

C

1 公共政策 人 材 支援技術

2 公共政策 環 境 個人技術

3 住民組織 人 材 個人技術

4 住民組織 環 境 支援技術

2

A保健所では、ひきこもりの子を持つ親へのグループ支援を開始することとなった。

グループを運営するにあたり、不適切なものはどれか。

- 1 グループ支援の目的は、ひきこもりに関する講義を中心に、専門的知識や対応方法を系統的に学ぶこととする。
- 2 初回のプログラムでは、メンバーからの自己紹介を中心に、今困っていることやグループに参加して学びたいこと、期待することなどを述べてもらう。
- 3 グループ支援担当の保健師は、メンバーに対して「話したくないことは、無理に話さなくてよい。」と伝え、グループに参加しやすいように配慮する。
- 4 グループ支援担当の保健師は、各プログラム終了後に、グループ全体の様子や話合いの内容、個々の発言内容などを地区担当保健師に伝える。

3

難病の自主的な患者会を運営しているAさんが、保健師に相談するために保健所を訪れた。「患者会では、地域センターの一室を借りて、月に1回程度、近況報告や情報交換等を行っているが、最近は病気の進行により定例会に出られない会員が徐々に増え、新規参加者はほとんどない状況である。新しい会員を募りたいがどうすればよいか。」とのことである。この相談に対する保健所保健師の対応として、最も適切なものはどれか。

- 1 医療費助成申請で把握した同病者に、入会を働きかける。
- 2 Aさんから患者会の活動状況を聞き取り、会の活動評価を一緒に行う。
- 3 保健所が把握している同病者の名簿を提供する。
- 4 定例会に出られない会員の家族に、外出時の介護等の援助を依頼する。

4

アパートで一人暮らしをしている43歳の女性Bさん。28歳の時に統合失調症の診断を受けた。病識がなく通院が継続できないため、病院からの連絡で保健所の保健師も時々訪問していた。

最近、Bさんが玄関ドアの前に立ち、玄関前を通る人を大声で怒鳴りつけるなどの迷惑行為があり、アパートの管理者に住人から幾度となくBさんに関する苦情があった。そのためアパートの管理者が保健所に「どこか精神科病院に入院させられないのか。」「アパートから立ち退かせられないのか。」と訴えてきた。Bさんの家族は同じ市内に住んでおり、時々様子を見に来ている。近所の方がBさんの家族に声をかけるが、逃げるように去ってしまい話ができないという。

このときの保健師の判断として最も適切なものはどれか。

- 1 医療保護入院が必要である。
- 2 措置入院の適応であり、警察官の通報が必要である。
- 3 近隣者に対して、Bさんの病状の説明が必要である。
- 4 Bさんの家族から話を聞くことが必要である。

5

障害児施策に関する記述について、空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせはどれか。

国は、障害のある児童に対しては、学齢期における支援の充実を図るとともに、保育所等に通う障害児に対して、 A を支援するため、「 B 」及び「保育所等訪問支援」を創設した。

また、在宅で生活する重症心身障害児（者）に対し、適切なリハビリテーションや療育を提供し、日中の活動の場を確保するため、重症心身障害児（者）通園事業を予算事業で実施してきたが、平成24年4月から C の改正により法定化し、安定的な財源措置が講じられることとなった。

	A	B	C
1	集団生活への適応	ホームヘルプサービス	障害者総合支援法 [※]
2	集団生活への適応	放課後等デイサービス	児童福祉法
3	在宅療養への移行	ホームヘルプサービス	障害者総合支援法
4	在宅療養への移行	放課後等デイサービス	児童福祉法

※ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

6

難病の患者に対する医療等に関する法律（平成27年1月1日施行）で、難病の定義に含まれていないものはどれか。

- 1 発病の機構が明らかでない。
- 2 治療方法が確立していない希少な疾病である。
- 3 長期にわたり療養を必要とする。
- 4 経済的な負担が大きい。

7

特別養護老人ホームに2か月前に入所した72歳の寝たきりの男性Aさんが、体調不良のため施設職員と受診したところ、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染していることが判明した。現在、入院は不要と判断され、施設で生活をしている。不安になった職員が「これから施設としてどうしたらよいか。」と保健所に相談に来た。その際、保健所の指導として最も適切なものはどれか。

- 1 Aさんの入浴介助とオムツ交換を行った職員は、HIV抗体検査を最終接触後60日以降早急に行う。
- 2 Aさんは個室対応とし、他の入居者との接触は絶対に避けるような体制をとる。
- 3 Aさんの介助時は、ガウン・マスク・手袋着用の上対応することを施設職員全員に徹底する。
- 4 出血を伴うケガなどの対応について、現在施設にある対応マニュアルを確認し、必要に応じて見直しを行う。

8

子供の自殺についての記述で、不適切なものはどれか。

- 1 子供の自殺予防のためには、子供の自殺の背景に、子供にかかるストレス、心の病、家庭的な背景、独特の性格傾向、衝動性など複数の複雑な現象があることを理解する必要がある。
- 2 子供から、「死にたい。」と打ち明けられた場合、子供の話をよく聞き、自殺以外のことに目が向くように働きかけたり、頑張っって乗り越えられるように励ますことが必要である。
- 3 自殺の危機に際しては、単に子供に働きかけるだけではなく、地域社会、学校、家庭、医療など関係機関が緊密な連携をして取り組む必要がある。
- 4 不幸にして自殺が起きてしまった後には、自殺発生が他者に及ぼす心理的影響を軽減するため、遺された他の子供たちや家族に対する心理的ケアが必要である。

9

ある保育園の園児が下痢で受診したところ、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。主治医から発生届を受けた保健所は積極的疫学調査を行い、同じクラスの0歳児15名、保育園職員22名、同居家族3名の検便を実施した。その結果、陽性となった者は下表のとおりである。

下表の対象者への保健所の対応として不適切なものはどれか。

対象者			症状
A	25歳	担当保育士	4日前から軟便が継続
B	32歳	保育園の調理師	症状なし
C	0歳8か月	同じクラスの園児	症状なし
D	0歳11か月	同じクラスの園児	症状なし
E	0歳5か月	同じクラスの園児	症状なし
F	36歳	同居の父親	1回下痢、以後症状なし

- 1 Aには、すぐに医療機関受診を指示した。
- 2 Bには、検便で陰性が確認できるまで厨房の仕事はやめるように指示した。
- 3 C、D、Eには、服薬についてかかりつけ医に相談するように指示した。
- 4 Fには、症状が出たらすぐに受診するように指示した。

10

次の記述のうち、地区管理に関する活動に該当しないものはどれか。

- 1 在宅難病患者支援の新規事業のための予算要求書を作成し、在宅療養の課題やデータをそろえて、担当者に説明を行った。
- 2 保健師が支援している障害児の事例について、地域のサービスを利用する上で問題となっていることを整理し、まとめた。
- 3 在宅療養支援のネットワークを構築するために、地域関係者との会議を企画し、地域の課題を共有した。
- 4 精神障害者の社会復帰を支援するために、当事者や地域関係者とともに、不足するサービスについて検討を始めた。

11

次の記述の空欄に当てはまる語句として、適切な組み合わせはどれか。

バイアスとは、 A に入り込む系統的な情報のかたよりのことである。バイアスには、情報バイアスと、 B がある。情報バイアスには、 C 、測定誤差、思い出しバイアスなどがある。 B とは、調査対象集団を抽出する際におこるかたよりのことである。

	A	B	C
1	疫学研究	標本バイアス	有病者・罹患者 ^り バイアス
2	疫学研究	選択バイアス	虚偽の回答
3	評価項目	標本バイアス	有病者・罹患者 ^り バイアス
4	評価項目	選択バイアス	虚偽の回答

12

次の各法律に関する記述で、誤っているものはどれか。

- 「健康増進法」は、「健康日本21」を法制化したものであり、国民健康・栄養調査の実施や特定給食施設の栄養管理など、栄養改善を含めた国民の健康増進を図り、国民保健の向上を目的としている。
- 「高齢者の医療の確保に関する法律」では、後期高齢者医療制度が創設されるとともに、医療保険者に40歳～74歳を対象にした特定健康診査・特定保健指導を義務づけている。
- 「母子保健法」では、母性・乳幼児の健康の保持・増進をはかるため、母性ならびに乳幼児に対する保健指導等の様々な措置を講じるとし、「健やか親子21」を策定している。
- 「精神保健福祉法」*による医療保護入院は、指定医の診察の結果、入院の必要があると判定されたものについて、本人の同意がなくても家族等の同意で入院させることができる。

* 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

13

個人情報の保護及び守秘義務について、次の設問に答えなさい。

- (1) 「個人情報の保護に関する法律」第23条第1項に規定されている、本人から同意を得なくても、本人以外の者に個人情報を提供することができる場合の事例を2つあげなさい。
- (2) 保健所に勤務する保健師に対して守秘義務を規定する法律を2つあげなさい。

解答は解答用紙

A

 に記入しなさい。

14

Aさんは30歳、男性。両親と3人暮らし。Aさんの様子がおかしいため、Aさんの両親から保健所に相談が入った。保健師の支援を受けながら両親がAさんを病院へ連れて行った結果、統合失調症と診断され、医療保護入院となった。両親はAさんに対して今後どのように接していけばよいのか困っている。

- (1) 統合失調症の特徴的な症状について、①陽性症状、②陰性症状を2つずつあげなさい。
- (2) 保健師として、Aさんの家族へどのようなアドバイスをすべきか。アドバイスの要点を2つあげなさい。

解答は解答用紙

B

 に記入しなさい。

15

重症新生児仮死により、NICUで治療を受けていたNちゃんが、生後6ヶ月目になり自宅に退院することになったため、病院のプライマリーナースから保健所に連絡があった。Nちゃんは、脳障害が広範囲であること、現在も呼吸障害、嚥下^{えんげ}障害などがあり、今後も知的発達障害を伴うだろうということがわかった。また、両親と3人家族で、両親にとって初めての子供であるとのことである。

Nちゃんを担当する保健所保健師として、次の設問に答えなさい。

- (1) Nちゃんの家をアセスメントするために、必要な情報を3つあげ説明しなさい。
- (2) (1)の情報を得るために、保健師としてどのような活動をするか3つあげなさい。

解答は解答用紙

C

 に記入しなさい。

16

Aさんは64歳の女性で、70歳の夫と二人暮らしである。2年前にALS（筋萎縮性側索硬化症）と診断され、夫が主介護者となり在宅療養をしていたが、呼吸障害、嚥下障害が進行し、体重減少もみられたため入院となった。

今回の入院で新たに人工呼吸器装着及び胃ろう造設を行い、状態が安定したため退院に向けて準備することとなった。主介護者である夫は、退院については了解しているものの、Aさんがほぼ寝たきりの状態となり入院前と比べて介護の負担も増大すること、自身も高齢であることから、不安も口にしている。

下記の入院前の週間予定を参考に、Aさんの退院後の在宅療養を継続するために、新たに導入した方がよい具体的なサービスを3つあげて、その理由を簡単に説明しなさい。

<参考：入院前の週間予定>

	月	火	水	木	金	土	日
午前	デイサービス（入浴含む）	ヘルパー	デイサービス（入浴含む）	専門医受診（月1回）	デイサービス（入浴含む）	デイサービス・リハビリ	
午後				ヘルパー			ヘルパー

解答は解答用紙 **D** に記入しなさい。

17

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定される二類または三類感染症のうち病名を2つあげ、それぞれの症状、感染経路を記述しなさい。

解答は解答用紙 **E** に記入しなさい。